

令和3年度

事務事業評価表（令和2年度の実績評価）

記入年月日
令和2年4月16日

Table with 4 main columns: 事務事業名 (公害苦情処理事務), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (事務事業No. 050803000238), and 所属課 (030301 生活環境課). Includes sub-sections for 政策体系 and 財務会計上の位置付け.

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (市民からの公害に関する苦情を処理し、良好な生活環境の確保、住みよい地域社会を実現する。), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順 (公害苦情の受付。苦情対応・現場処理。)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 main columns: ①手段 (苦情対応・現場処理), ②対象 (市民), ③意図 (改革・改善による期待成果), ④活動指標 (苦情受付件数), ⑤対象指標 (桜川市人口), ⑥成果指標 (苦情処理件数). Includes a data table with years 01-05.

(3) 投入量（事業費）の推移

Table showing input amounts for 01, 02, and 03 years. Includes categories like 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計(A), and 正規職員従事人数.

Table for 02年度事業費実績 (千円) and 03年度事業費予算 (千円). Includes a summary row for 合計 with a value of 0.

事務事業名	公害苦情処理事務	事務事業No.	50803000238	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 苦情処理を通じて、公害のない住みよい地域社会を実現するため。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 公害苦情対応は、住民の快適な生活環境の充実につながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 環境基本条例のなかで、市町村及び県の役割、県の環境施策の基本的な枠組みが記されている。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 関係機関と連携をとり、対応している。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 良好な生活環境が守れない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 野犬苦情対応、動物のれき死体処理 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 苦情処理として、野犬苦情対応、動物のれき死体処理がある。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最小限の人件費である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 苦情内容に関わらず、対応している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	粗大ごみ回収事業で木製品の回収を実施したことにより、野焼きの件数が減少している。不法投棄がしやすい環境であるため、監視が困難である。																											
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持			×	成果	低下			×	低下			×
成果	向上 維持 低下	コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上		○	×																									
	維持			×																									
成果	低下			×																									
	低下			×																									
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ②																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>